



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立稲積小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

3年生の国語の学習では、1年生が本を好きになってくれるような、読み聞かせをする学習があります。今回は、生活科の関係で、2年生に読み聞かせをすることになりました。グループで絵本を数冊選び、15分以内で上手に読んであげる学習で、本番の前にクラスの中で読み聞かせをすることになりました。

終わった後の感想では、「どこのグループも面白いばかりで、声も聞こえやすかったです。グループ以外に聞いてもらうことがなかったので、緊張しました。」「見たことない本とか、いろいろあって楽しかったし全部おもしろかったです。」など、友達とのかかわりで考えや知識を深めていく様子がたくさん見られました。

本番も上手にできて「2年生に褒められた。」と自信をもって話していました。



学習センターとしての機能

国語の学習で3年生から5年生に学校図書館を活用するために、本の背表紙の分類例が載っています。そこで、分類をしっかりと理解するために、「目指そう！図書館マスター」というプリントを作成しました。実際に分類ごとに本を借りて読むことで内容の理解も深まっていた。時間がかかるので、すぐには達成できませんが、意欲的に継続して頑張る子どもの姿が見られました。取組後の「数字によって、中身が全然違っていった。」「図書館の本は、たくさんあって、数字で分類がわかりました。」などの感想がありました。



分類	ラベル	書名(本のタイトル)	作者
0	4.2	モノのほとけえほん	荒俣宏
1	4.3	明日をへる十歳のうた	田村幸彦
2	4.10	日本の歴史	林 有造
3	4.17	多様性の初歩を知る	ロートロ・ロートロ
4	4.22	匠者 いふたい	島田 和子
5	4.23	捨てない本屋の挑戦	井出 雅夫
6	4.24	走る動物病院	佐々木 康彦
7	4.25	おれはアサヒ	ミカサマサト
8	4.26	神はかくれん。漢字あ	山本史也
9	4.27	百人一首あはれお	徳田 幸綱
E	4.28	ふたりはきょうと	ザノリト・ローリ

情報センターとしての機能

3年生の社会の学習では、「事故や事件からくらしを守る」という学習があります。内容は、【施設・設備などの配置、消防署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり、資料で調べたりして、必要な情報を集め、…】となっています。

そこで、調べたい事柄について、必要な資料を学校図書館の本の中から収集しました。インターネットにも資料がありますが、ふりがながついていなかったり、難しい語句があったりして、3年生の発達段階ではなかなか理解できないような内容もあったので、学校図書館から調べることにしました。今回は、コーナーも作り、手に取りやすいようにしました。本を使って調べ、読み深めていくことによって、より実感がもてる学びとなっていました。

